

久慈港長期構想検討委員会

第2回委員会等における主要意見と対応方針

令和7年6月11日(水)



1. 第2回委員会における主要意見と対応方針



No	意見	対応方針（案）	対応する取組
1	・ 主要な貨物である高炉用珪石や現在引き合いがある石 灰・融雪剤の水濡れ対策として、上屋等の整備を行ってほしい。	・ 荷主等のニーズも把握しながら、上屋等による対策について検討を進めていきます。	物流・産業 【取組①】
2	・ 燐蒸やパーク処理を円滑に行うため、野積場を舗装してほしい。	・ 荷主等のニーズ、将来の利用見込み等について把握しながら、野積場舗装の実施に向けて引き続き検討を進めていきます。	物流・産業 【取組①】
3	・ 地元産のパークの有効活用に向けて、舗装の整備を検討してほしい。	・ 荷主等のニーズ、将来の利用見込み等について把握しながら、野積場舗装の実施に向けて引き続き検討を進めていきます。	物流・産業 【取組①】
4	・ 激甚化する自然災害に対応するため、河川の河道掘削、浚渫事業等が実施されているが、これらの工事で発生する残土対策に苦慮していることから、受入先として海面処分用地の整備を行ってほしい。	・ 素案p.8【取組②】に記載のとおり、ふ頭用地の整備においては、久慈港周辺で将来的に想定されている公共事業で発生する土砂の受入も含めて検討を進めていきます。	物流・産業 【取組②】
5	・ 原木輸出、PKS・風力発電部材の輸入実績があり、今後も見込まれるため、スムーズな荷役業務となるよう、開港に向けた取組を県とともに実施していきたい。	・ 外航船の利用促進など開港に向けた取組を関係機関と連携し進めていきます。	物流・産業 【取組②】
6	・ 既存貨物（珪石、原木）の取扱拡大（大型船による輸移入）を想定した場合、既存岸壁では水深が不足することから、大型船に対応した岸壁を整備してほしい。	・ 素案p.8【取組②】に記載のとおり、県北産の珪石や原木の輸出拠点として大水深岸壁・ふ頭用地の整備を目指すこととしております。	物流・産業 【取組②】
7	・ 将来、半崎地区がバルク貨物の輸出入拠点となり船舶の出入りが多くなることも考えられるので、海上輸送の安全面に配慮してほしい。	・ 将来の半崎地区の利用形態が具体化されてきた段階で関係機関と調整を図りながら、港湾計画等の検討を進めていきたいと考えています。	物流・産業 【取組②】
8	・ 準備区域に整理されている久慈市沖に最も近い久慈港の基地港湾利用は、設備の組み立て、設置管理、そしてメンテナンスの効率的な実施および地域経済の影響を考慮して、必須と考えている。	・ 素案p.9【取組③】に記載のとおり、今後の技術開発動向や国土交通省等において実施している洋上風力発電の導入促進に係る検討状況を踏まえ、エネルギー産業拠点の形成に向けた検討を進めていきます。	物流・産業 【取組③】

: 物流・産業
 : 環境
 : 賑わい・交流
 : 安全・安心
 : その他

1. 第2回委員会における主要意見と対応方針



No	意見	対応方針（案）	対応する取組
9	・海洋再生可能エネルギーの有効利用と安定供給の観点から、水素・アンモニアの生産・貯蔵・利活用に携わる企業誘致を目指している。また、脱炭素社会の構築に取り組む事業者、事業所、研究施設、さらには物流拠点としての利用も念頭に置きながら、誘致活動を強化していきたいと考えている。	・素案p. 10【取組③】に記載のとおり、港湾脱炭素化に向けた取組について、関係機関と連携しながら進めていきます。	物流・産業 【取組③】
10	・石油備蓄基地の機能維持しながら、構想を実現していければと考えている。	・素案p. 10【取組③】に記載のとおり、港湾管理者としては、石油備蓄基地の操業に支障がないように、周辺の港湾施設について適切な維持管理に努めていきたいと考えております。	物流・産業 【取組③】
11	・漁船の大型化に伴って、メンテナンス施設が近隣にないことが課題になっている。大型化に対応した上架施設を整備してほしい。また、近年プレジャーボートの数も増加傾向にあり手狭になっていることから、係留施設の整備をお願いしたい。	・素案p. 12【取組⑤】に記載のとおり、作業船や漁船等小型船舶の適正配置・管理による水域利用の適正化に取り組むこととしている。また、港湾計画においても船溜まり計画を定めることになるので、今後、久慈港内における漁船数や大型化の見込み等について関係機関と情報交換しながら検討を進めていきます。	物流・産業 【取組⑤】
12	・急激な温暖化によって水産環境が変化しているため、モニタリングを充実させてほしい。	・素案p. 13【取組⑥】に記載のとおり、水質観測や生物共生型港湾構造物、藻場造成等の検討を行い、良好な港湾環境・生物生息環境の創出に関係機関と連携しながら取り組むこととしております。	環境 【取組⑥】
13	・バイオマス燃料の灰を建設資材の原料として使用されることを検討してほしい。	・バイオマス燃料灰を原料として使用した建設資材の活用による藻場造成等脱炭素化に資する取組として考えられるものもあるので、引き続き情報交換しながら取組の具体化について検討を進めていきたいと考えています。	環境 【取組⑥】
14	・邦船2社のクルーズ船が接岸可能な岸壁の整備を行ってほしい。	・素案p. 15【取組⑧】に記載のとおり、まずは連続バースの運用により接岸可能なクルーズ船の受入を想定し、必要な受入機能の強化を図っていききたいと考えております。	賑わい・交流 【取組⑧】

: 物流・産業
 : 環境
 : 賑わい・交流
 : 安全・安心
 : その他

2

1. 第2回委員会における主要意見と対応方針



No	意見	対応方針（案）	対応する取組
15	・シンボリックなイベントとして、湾口防波堤を背景にした花火大会を行いたい。	・観光資源の磨き上げやレクリエーション機能の充実に繋がるものと考えているので、素案p. 16【取組⑨】やp. 18【取組⑪】の中で検討していきたいと考えています。	賑わい・交流 【取組⑨⑪】
16	・クルーズ船の受入や賑わい・交流空間の創出に当たって、久慈地域における観光資源・施設についてブラッシュアップしていきたいと考えている。	・素案p. 15～18【取組⑧⑨⑩⑪】について、関係機関と連携しながら進めていきます。	賑わい・交流 【取組⑧⑨⑩⑪】
17	・長期構想（素案）においては、エリアごとに今までよりも人の利用が多くなる想定をしている場所もあると思われるが、津波などの災害時の避難経路や避難場所までの所要時間などについての対応も今回の取組の一つに含まれると思われるが、既に検討されている内容があれば教えていただきたい。	・素案p. 21【取組⑭】の中で、地域防災力向上を目的とした「津波防災出前講座」の継続実施や地理に不案内な観光客、港湾労働者等に対する避難経路や避難場所の周知を図ることとしております。ご意見のありました具体的な取組内容の検討については、関係機関と連携を図りながら進めていきます。	安心・安全 【取組⑭】
18	・津波防災や航行船舶の安全性向上等の効果が期待される湾口防波堤について、令和10年の概成、令和15年の完成に向けて着実な整備による早期の効果発現を期待しています。	・素案p. 20【取組⑬】に記載のとおり、早期の効果発現に向けて、引き続き着実な整備を進めていきます。	安心・安全 【取組⑬】
19	・久慈港が広域的な防災拠点、物資供給拠点となるためにも、耐震強化岸壁の整備を行ってほしい。	・素案p. 21【取組⑭】に記載のとおり、耐震強化岸壁については、緊急物資輸送の必要性、背後企業の物流機能維持の観点から耐震強化岸壁の整備を進め、広域防災拠点の形成を図ることとしております。具体的な計画位置や規模については、背後圏のアクセスとの連携も考慮しながら今後検討していきます。	安心・安全 【取組⑭】
20	・施設は石油備蓄基地と近いため、地震と津波避難の訓練により防災意識を高めていきたい。	・素案p. 21【取組⑭】に記載のとおり、地域住民に対する津波防災教育や観光客、港湾労働者等に対する避難経路・場所の周知に取り組むこととしております。	安心・安全 【取組⑭】

: 物流・産業
 : 環境
 : 賑わい・交流
 : 安全・安心
 : その他

3

1. 第2回委員会における主要意見と対応方針

No	意見	対応方針（案）	対応する取組
21	・災害が頻発しているため、風力発電やバイオマス発電の取り組みによって港湾や日常生活の機能低下を長引かないようにしてほしい。	・素案p.21【取組⑭】に記載のとおり、災害による地域産業や市民生活への影響を低減させるため、港湾の重要機能が最低限維持できるよう港湾BCPの充実に取り組みます。	安心・安全 【取組⑭】
22	・長期構想の策定後は、どの程度の期間で施設整備が進められるのか。	・現時点では、概ね10～20年くらいでの整備を想定しています。	その他

	：物流・産業		：環境		：賑わい・交流		：安全・安心		：その他
--	--------	---	-----	---	---------	---	--------	---	------

4

2. 第4回幹事会（書面開催）における主要意見と対応方針

No	意見	対応方針（案）	対応する取組
1	【物流ニーズに合ったふ頭の再編・P7】 ・現状認識と対応策の考え方 ○の5番目 「岸壁の利用状況や貨物の特性、・・・」を、 「岸壁の利用状況や将来の貨物需要、・・・」に修正願います。	・ご指摘のとおり文言を修正します。	物流・産業 【取組①】
2	【大型船舶に対応したバルクターミナル・P8】 ・現状認識と対応策の考え方 ○の4番目 「～、将来の貨物需要や～土砂の受入も含めて～」を、 「～、岸壁の利用状況や将来の貨物需要、～土砂の受入等も含めて～」に修正願います。	・ご指摘のとおり文言を修正します。	物流・産業 【取組②】
3	【大型船舶に対応したバルクターミナル・P8】 ・鉄スクラップ（金属くず）の国内需要の拡大は、国内製鉄所が「高炉から電炉へ製造工程をシフトする動き」によるものと簡潔に記載されておりますが、何故金属くずが増えるのか少々分かりづらいため、もう少し具体的に記載すべきと考える。 例えば、「CO2排出量の少ない高炉（鉄鉱石）から電炉（金属くず）へ製造工程をシフトする動き」にするとか。	・文章を以下のとおり修正します。 「カーボンニュートラルの実現に向けて、国内製鉄所が高炉（鉄鉱石）と比較してCO2排出量の少ない電炉（金属くず）へ製造工程をシフトする動き」	物流・産業 【取組②】
4	【エネルギー産業拠点の形成・P9】 現状認識と対応策の考え方○の2番目 文章を以下のように変更してはどうか。 理 由：令和8年1月に長崎県五島市沖（浮体）が運転開始予定のため（実証段階とは、もはや言えないのではない） 原 案：本県沿岸部においては、海底が急傾斜で深くなるため、浮体式洋上風力発電の導入が有力とされていますが、まだ実証段階にあることから、今後の技術開発動向や、国土交通省等において実施している洋上風力発電の導入促進に係る検討状況を踏まえ、エネルギー産業拠点の形成に向けた検討を進めていきます。 変更後：本県沿岸部においては、海底が急傾斜で深くなるため、浮体式洋上風力発電の導入が有力とされています。久慈市沖の案件形成の進捗状況を踏まえ、エネルギー産業拠点の形成に向けた検討を進めていきます。	・意見の主旨を踏まえ、文章を以下のとおり修正します。 変更後：本県沿岸部においては、海底が急傾斜で深くなるため、浮体式洋上風力発電の導入が有力とされていることから、国土交通省等で実施している浮体式洋上風力発電の導入促進に係る検討状況、今後の技術開発動向及び久慈市沖等の案件形成の進捗状況を踏まえ、エネルギー産業拠点の形成に向けた検討を進めていきます。	物流・産業 【取組③】

	：物流・産業		：環境		：賑わい・交流		：安全・安心		：その他
--	--------	---	-----	---	---------	---	--------	---	------

5

2. 第4回幹事会(書面開催)における主要意見と対応方針

No	意見	対応方針(案)	対応する取組
5	【地域の水産業を支える拠点の形成・P11】 ・「地場産品の物流拠点形成を目指します」とありますが、具体的に何をするのか見えないため、書ける範囲で結構ですので、文章もしくは図に具体的にどのような取組をするのか入れるべきと考える。	・現時点では具体的な内容は記載できませんが、今後、港湾計画の内容を検討していく中で、関係機関と調整していきたいと考えております。	物流・産業 【取組④】
6	【小型船だまりの利便性の向上・P12】 ・現状もしくは将来的に何が困って、どのような対応をするのか。	・現状の小型船だまり計画と実際の利用状況が異なるため、利用者のニーズを踏まえて実態に見合う計画に見直す必要があると考えております。 ・また、港湾関係団体からも、作業船が安全で確実に保持できる係留場所の港湾計画への位置付けを要請されております。加えて、洋上風力発電が導入となれば、洋上風力メンテナンス船の係留場所も考慮する必要があると考えております。 ・よって、将来の港形・ニーズを踏まえて各種船舶の適正配置を検討し、計画に位置付けた上で、管理していきたいと考えております。	物流・産業 【取組⑤】
7	【物流ニーズに合ったふ頭の再編・P7】 【大型船型に対応したバルクターミナルの形成・P8】 【地域の水産業を支える拠点の形成・P11】 ・修正箇所(朱書き)の修正理由をご教示願いたい。	【P7・P8の修正理由】 ・港湾計画変更やその後の施設整備に当たっては、貨物需要、岸壁需要・利用状況を踏まえた検討が必要であることから修正したもの。 【P11の修正理由】 ・国内向けの取組を主体としていることから修正したもの。	物流・産業 【取組①②④】
8	【生物多様性の保全・P13】 【新たな静穏海域を活用した賑わい空間の創出・P18】 等 ・埋立を行うことは確定していないと思うので、将来イメージ(今後変更の可能性有)と記載願います。	・ご指摘のとおり文言を修正します。	環境 【取組⑥】 等

: 物流・産業
 : 環境
 : 賑わい・交流
 : 安全・安心
 : その他

6

2. 第4回幹事会(書面開催)における主要意見と対応方針

No	意見	対応方針(案)	対応する取組
9	【温室効果ガス吸収源の創出・P14】 ・どこでどのような環境づくりをするのか。	・港内に現存する藻場を対象にその保全や造成に向けた取組を想定しております。 ・現時点で実施主体が明確にはなっていませんが、藻場によるCO2吸収量をクレジット化し、そのクレジットの売買を行うことで藻場の保全・造成活動を推進していくブルーカーボン・オフセット制度の活用などを想定しております。	環境 【取組⑦】
10	【クルーズ船の受入機能の強化・P15】 ・どのような機能強化をするのか(対応する係船柱や防舷材の整備など)。	・ハード面においては、想定する船型に対応した係船柱や防舷材の整備を想定しております。 ・ソフト面においては、海外からの観光客に対応するための通訳案内者や誘導員、国際クルーズ船の受入も視野にいと、税関や出入国管理、検疫の手続きを行う施設としてCIQテント等の配備も必要になると想定しております。	賑わい・交流 【取組⑧】
11	【クルーズ船の受入機能の強化・P15】 ・「多様なクルーズ船型の寄港に～」中の「クルーズ船型」という単語は一般的でしょうか。一般的でない場合は他の文言に言い換えてもよいのではないか。	・ご指摘のとおり「船型」という単語は、船舶工学や海事関連の分野では一般的ですが、専門用語でありますことから、「多様なクルーズ船の寄港に～」に文章を修正します。	賑わい・交流 【取組⑧】

: 物流・産業
 : 環境
 : 賑わい・交流
 : 安全・安心
 : その他

7